

一般会計 **170 億 2 千万円**

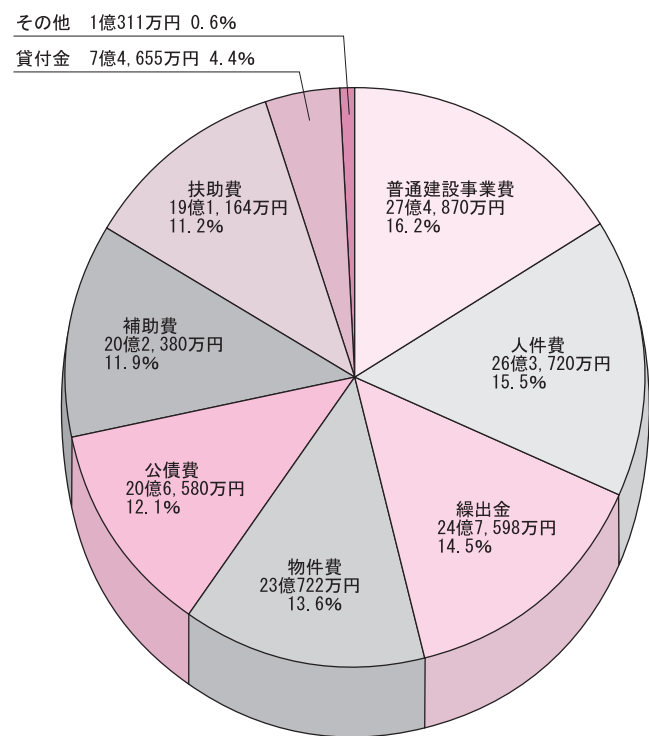
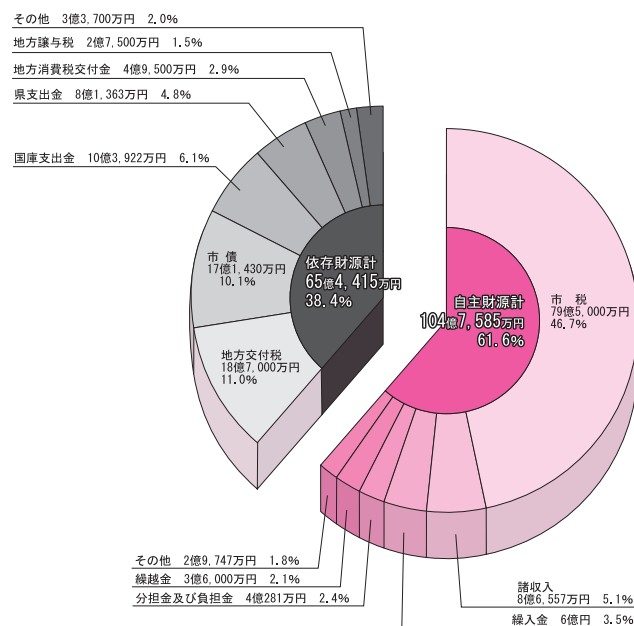
歳入

基幹収入である市税をはじめ、地方交付税や国庫支出金、県支出金など柱となる収入について、適正な見積もりを行うとともに、地方交付税に有利な起債の活用にも努めました。

自主財源では、主となる市税で前年度比9.7%増の79億5千万円を見込み、うち個人市民税は、税源移譲などにより前年度比32.0%増の24億5千9百万円を計上しました。

基金繰入金は、学校給食センター建設などの大型事業を進めるため、財政調整基金繰入金で前年度比1億円増の4億円を計上しました。

依存財源は、国庫支出金が補助事業の完了などにより約2億6千万円の減額となり、また、地方譲与税が所得譲与税の廃止により4億円の減額となるなど、前年度比5.3%の減となりました。



歳出 (性質別)

人件費や扶助費、公債費などの義務的経費が増加するなか、普通建設事業費は、補助事業の大幅な減少により、前年度比25.5%減の27億4千万円余りとなりました。

全体では、ソフトとハード事業を織り交ぜながら、特に、子育てにやさしい環境、在住外国人との共生、安心安全な地域づくりなどに配慮しました。その結果、一般会計予算額は、170億2千万円となり、前年度比1.6%の減となっています。

平成19年度予算について、歳入では基幹となる市税収入に増加が見込まれるものの、補助金の廃止・縮減、少子・高齢社会への対策、特別会計への繰出金の増加など財政の硬直化が懸念されます。このような厳しい状況の中、限られた財源の重点的かつ効率的な配分による予算編成に努めました。今回は、その予算のあらましについてお知らせします。

予算編成の基本方針

◇第4次総合計画の基本方針に沿い、はっきりと形に表すための事業の推進

- ・住んで誇れる「環境都市」のまちづくり
- ・時代を拓（ひら）く「教育文化」のまちづくり
- ・安心安全に暮らせる「健康福祉・環境」のまちづくり
- ・交流のさかんな「産業経済」のまちづくり
- ・みんなでつくる「市民参加」のまちづくり

◇「ひとにやさしいまち・だれもが住んでみたいまち美濃加茂」を実現する施策への重点的かつ効率的な配分

- ・元気で活力に満ちた美濃加茂
- ・安心して快適な暮らしができる美濃加茂
- ・市民に便利・市民にオープン・市民が納得の市政

■平成 19 年度会計別予算 (単位：万円 %)

会 計 名		平成 19 年度	平成 18 年度	差引増減額	増減率
一 般 会 計		170 億 2,000	173 億 0,000	△ 2 億 8,000	△ 1.6
特 別 会 計	国民健康保険会計	47 億 9,279	40 億 8,423	7 億 0,856	17.3
	介護保険会計	25 億 1,028	22 億 8,286	2 億 2,742	10.0
	老人保健会計	36 億 9,413	36 億 8,284	1,129	0.3
	下水道事業会計	39 億 5,024	32 億 4,015	7 億 1,009	21.9
	東海環状自動車道 工事残土処分事業会計	0	2 億 8,500	△ 2 億 8,500	皆 減
	介護認定・障がい者 自立支援認定審査会会計	4,197	4,487	△ 290	△ 6.5
	計	149 億 8,941	136 億 1,995	13 億 6,946	10.1
	水 道 事 業 会 計	19 億 8,338	27 億 5,672	△ 7 億 7,334	△ 28.1
合 計		339 億 9,279	336 億 7,667	3 億 1,612	0.9



「ひとにやさしいまち・だれもが住んでみたいまち美濃加茂」
特 集 平成 19 年度 予算